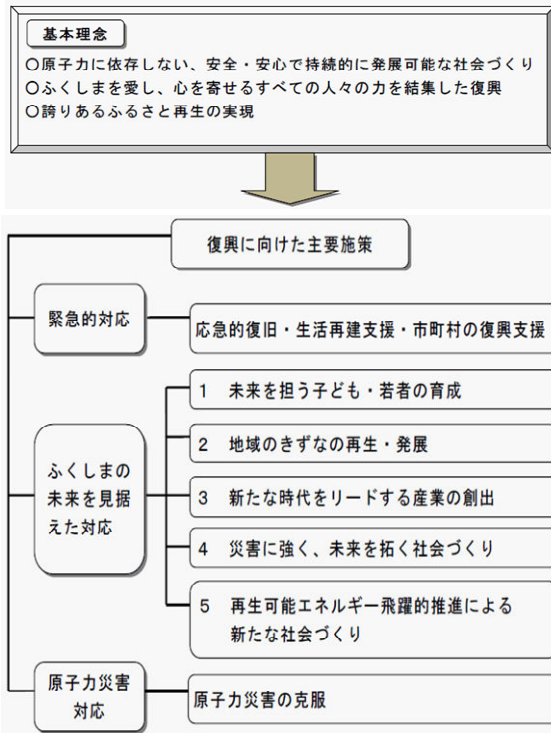


福島県復興ビジョンが策定されました

復興ビジョンの構成について



今回の東日本大震災、及び原子力災害の発生に伴い様々な被害が今も生じていますが、すべての県民が思いを共有しながら一丸となって復興を進めるための基本理念と主要施策をまとめた「福島県復興ビジョン」を8月に策定しました。

復興ビジョンは3つの基本理念と7つの主要施策から構成されています。基本理念では主要施策を貫く最も基本的な考え方を示しています。

復旧に向けた主要施策では「緊急的対応」「ふくしまの未来を見据えた対応」「原子力災害対応」に分け、災害からの早急な復旧、福島県を以前よりよい状態へとしていく復興までの対応と原子力災害への対応について示されております。

この復興ビジョンを踏まえ、今後、変化していく状況に対応し、各市町村や県民の皆様のご意見などを取り入れながら、具体的な取組みや主要な事業を示す第1次「復興計画」を12月末に作成する予定となっております。

復興ビジョン本編、復興計画作成状況、などにつきましては福島県のホームページをご覧ください。

トップページ > 組織別 > 企画調整部 > 復興・総合計画課 > 福島県復興ビジョン

なお、相双農林事務所では、復興を効果的・効率的に進めるとともに、地域の要望が的確に反映されるよう、農林漁業者、関係機関の意見等を参考に取まとめた「復興計画への提言」を取まとめております。

こちらは相双農林事務所のホームページに掲載しております。

(企画部) ホーム > お知らせ > 「福島県復興計画への提言」について

ふくしまの最新情報『「ふくしま 新発売。」プロジェクト』始めました！

本県産の農林水産物は、東京電力福島第一原子力発電所事故による影響で、水稻の作付制限や出荷制限、風評被害など深刻かつ甚大な打撃を受けています。

県では、これまで農林水産物モニタリングを実施し、速やかな結果の公表や安全が確認された農産物を積極的にPRしてまいりました。

また、この度、福島県の農産物復興プロジェクト「ふくしま新発売。」を新たに立ち上げました。

このプロジェクトは、県内外の皆様と協調を図り、生産者の「こころ」や「想い」、「希望」を感じていただける賛同・参加型の活動を実施しながら、新たな未来へ向けて再生し始めている福島県の姿を、全国に発信することとしております。

農林水産物モニタリングとは？

モニタリングは、出荷・販売する農林水産物の安全性確認と消費者に対する正確な情報提供を目的に、検査品目、サンプリング場所、サンプル数など事前に国と調整しながら実施しています。

また、出荷制限品目等の最新情報は、右記webサイト等で確認してください。

ふくしまの最新情報をお届けいたします。

ふくしま 新発売。

農林水産物モニタリング情報 Monitoring Info

イベント情報 Event Info

ふくしま! Reports C

HOME > 農林水産物モニタリング情報

農林水産物モニタリング情報 Monitoring Info

地域や作物などから最新の情報を検索できます。

品目を選択
何もチェックしない場合は全品目から検索します

野菜	果物	根菜・芋類	山菜・きのこ	そば・麦	肉・鶏卵・原乳	魚介類
<input type="checkbox"/> アイスプラント	<input type="checkbox"/> 赤シソ	<input type="checkbox"/> アサツキ	<input type="checkbox"/> アスパラガス	<input type="checkbox"/> アブラナ	<input type="checkbox"/> アロエ	
<input type="checkbox"/> イタリアンパセリ	<input type="checkbox"/> イチゴ	<input type="checkbox"/> ウド	<input type="checkbox"/> ウルイ	<input type="checkbox"/> エダマメ	<input type="checkbox"/> オオバ	
<input type="checkbox"/> オカヒジキ	<input type="checkbox"/> オクラ	<input type="checkbox"/> カボチャ	<input type="checkbox"/> カラーピーマン	<input type="checkbox"/> ガーデンハックル	<input type="checkbox"/> キャベツ	

「ふくしま 新発売。」webサイトでは、これまでのモニタリングの結果が、「品目」別、「地域」別に検索できます。

(農業振興普及部)

<http://www.new-fukushima.jp/monitoring.php>

**安全・安心なふくしまの夏野菜をどうぞ！
「旬の夏野菜を食べて、暑い夏を乗り切ろう！！」
県内キャンペーンを実施しました**

平成23年7月29日・30日の2日間、福島県の主催による「旬の夏野菜を食べて、暑い夏を乗り切ろう！！」県内キャンペーンを、フレスコキクチ相馬店（相馬市）とヨークベニマル原町西店（南相馬市原町区）で開催しました。

このキャンペーンは、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う、本県産農林水産物の風評被害を払拭することを目的としたもので、知事のメッセージや県産農林水産物のモニタリングの検査状況、旬の夏野菜としてキュウリとトマトのレシピが書いてあるチラシを配り、県産農林水産物の安全性をPRしました。

また、チラシを受け取った方を対象に買い物後、くじ引きを行い、当選者には賞品として福島県産のモモをプレゼントしました。当選された方は色つやのよい美味しそうなモモに大変喜んでいました。

会場では、イベント開催直前の放射性セシウムに汚染された牛肉の問題を受けて、県産農林水産物のモニタリング

検査に関する質問もありましたが、福島県の農林水産物の応援のために県産農林水産物を買求める方も見受けられました。

今回のキャンペーンをきっかけに、今後、さらに本県産の農林水産物に関する風評被害の払拭に尽力いたします。（企画部）



モモを受け取り喜ぶ参加者

**大震災に係る
農地・農業用施設等の復旧状況について**

農村整備部所管の農地等災害の査定が8月上旬から南相馬市、相馬市及び新地町において実施されており、69地区で6億3千万円が採択されました。

引き続き、農地・農業用施設並びに排水機場・海岸保全施設の災害査定を進め、速やかな復旧工事に取り組んでまいります。

（農村整備部）

（農地関係の災害査定結果 9月15日現在）

区分	箇所	査定額(千円)
農地	8	28,229
農業用施設	59	443,319
農業集落施設排水	2	165,630
合計	69	637,178

※査定状況査定の結果は相双農林事務所のHPIに順次掲載されておりますので、そちらもご覧ください。



古磯部地区(相馬市)の査定状況

**「がんばろう ふくしま応援店」
農家レストラン「菜の花」営業しています！**

自家農園の野菜をふんだんに使い、季節を大切に料理を提供している「農家レストラン菜の花」は、4月より営業を再開しております。

メニューは「菜の花膳(1,050円、+コーヒーは1,250円)」のみですが、多くの品を組み合わせ工夫を凝らしたお膳は、味はもちろん、見ても楽しいものとなっております。

数量に限りはありますが、予約なしでも食べることができるようになりましたので、お近くにおいでの際はぜひお寄りください。

住所：相馬市百槻字赤屋敷103

電話：0244-35-2401

営業日時：水・木・金・土曜日
11:30～14:00

HP <http://www13.ocn.ne.jp/~nanohana/>



コラム「地元農業の復興について」

～農業振興普及部長：井上久雄

東日本大震災の発生から6か月が経過しました。

この大震災により、農業分野でも人、農地、機械・施設等多くの生産基盤を失いました。

復興に向けたインフラ整備の努力が続けられていますが、原子力発電所事故は未だ収束せず、放射性物質の拡散は、地元農業に大きな被害をもたらしています。

管内からは「地元産の農産物ほど値がつかない」、「地元の人が地元の農産物を敬遠する」、「地元農産物は学校給食に使えない」といった声が聞こえてきます。

放射性物質の拡散によって、生産者と消費者はともに被害者となりました。地元農産物の汚染に対する不安は、安全宣言やイベント、消費拡大PRだけでは解消することができません。県は、米のきめ細かな調査や牛の全頭検査、農産物緊急モニタリング検査等を継続して実施し、放射性物質の含有量を確認しています。

原子力発電所事故の現場に最も近いこの地だからこそ、市場には安全な農産物しか流通していないという事実を徹底して理解いただき、地元農産物を地元消費者が率先して購入するという、地元が地元を支える取り組みによって農業が元気を回復し、復興に向けた着実な一歩を踏み出したいと考えています。



福島県相双農林事務所 企画部

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地

TEL: 0244-26-1153 FAX: 0244-26-1181

HPアドレス <http://www.pref.fukushima.jp/norin-sousou/>

